

明 — みょう —

真宗大谷派 本明寺通信

No.51

2019年1月1日発行



京都 真宗大谷派山科別院 長福寺

(2018年11月27日撮影)

東京一組教化テーマ

さとりをすまて
迷いと生きる

本年も毎年の例時として報恩講を厳修いたしました。そもそも、報恩講とは親鸞聖人の祥月命日（11月28日）の集いです。親鸞聖人が亡くなられた日に仏法を聴く集いを開いて、自らの信仰を確かめ学び直そうという人たちが集まりました。この集いを「講」といいます。真宗大谷派の本山の真宗本廟（京都・東本願寺）では毎年11月21日から28日まで勤められますし、全国の真宗大谷派の別院や寺院でも年に一度、日時を定めて勤められています。

二〇一八年
報恩講
十月二十七日（土）
二十八（日）



報恩講法話

講師 朝倉俊隆 氏

(港区報土寺副住職)



◆ 仏教を一生懸命聞いていても、際まで来ると、聞いてきた仏教が何の役にも立たないものです。つまり、仏教を聞いている自分が、これは利用できる、これはうまい話だと聞いていても糧にならない。

◆ 合掌をすることが出来るが、それが生活にならない。合掌するということは挨拶することです。挨拶だから本尊（仏様）に手を合わせる時にはまず本尊を見てから合掌をしましょう。

◆ 頭でわかっていても心がついていけない時がある。仏教を勉強すると上等な人間になって、困ったことがあった仏教によって解決できると思いますが、やめられない。

わかっちゃいるけど、出来ないという問題が出てくるわけです。いい話だと聞いていてもすぐに忘れてしまう。続かないんです。

◆ 全てが光輝く世界に出会いました。私は私でいいのだと思いました。全てのもものは繋がっていて、その中に私が生かされている。と言われて、ある種の感動を覚えることがあります。だけどその感動が続かないんです。

◆ 『歎異抄』という書物に唯円という人のことが出てきます。念仏して踊躍歡喜（躍り上がるほど喜び）の心が起きないと。最初は感動があったかも知れないが、それが続かない。本当に厄介なことです。

◆だけど、そういうものなんだと。私たちは仏教を自分にくっつけて、自分を変えようとする。

◆私と仏教の間に生活が伴ってない。合掌はしていたが、合掌する生活になっていなかった。

◆御仏飯を備えたり、お荘厳を整えたり、仏様にお給仕をします。それをその家の家長が行ってききました。家長が仏様にお仕えする立場になる。つまり、仏様が名実ともにその家の主になるわけです。

◆御内仏を中心として生活をする。ことは、その家が仏教道場として、そして日々の生活が仏教道場での出来事という意味に変わります。そこに生活する私は仏弟子として、

仏様に「お育てに預かる身」になるということです。だから、堂に出入りする時には一礼してはいる。本堂、食堂は私が仏様にお育てに預かる場所なんです。

◆そして、御内仏の前でお勤めをしたり、法話を聞いたりします。

ただ単に道場としてあるだけでなくて、私が聴聞する場としていくということ。自分の問題は自分で解決できないんです。仏様が必要で、仏様に代わる仲間が必要なんです

◆三帰依文我あります。その中にある「仏」とは仏様を中心に生活をする。つまりお寺や御内仏を中心とした念仏道場としての生活を送るといふことです。「法」とは「教

え」ということです。毎日お勤めをして、教えを聴聞することです。その二つだけでは自分の都合のものしか生まれません。そこに「僧」がある。「僧」とは「僧伽」です。教えを聞く仲間ということです。関係を生きるということです。

◆私たちは人と共に歩んでいく。そうでないと仏教を自分勝手に解釈し自分の都合に合わせてしまう。同じ方向に歩む者同士、同行二人、旅仲間なんです。分からない者同士が共に歩んでいくためには、互いに語りあい聞きあうということが大切です。だから真宗では座談を大切にしています。この後も懇親会がありますが、共に語り、共に聞いていく時間にいたしましょう。

◆報恩講お手伝い

報恩講をお手伝いしていただいた方々をご紹介します。

川瀬	きぬゑ	後藤	まさ子
佐藤	慶子	高野	勢津子
宝田	康子	瀧口	和彦
瀧口	泉	任田	賢治
早矢仕	昌治	平山	邦男
蛭川	茂代	横澤	正克
和田	富士子	渡邊	京子
渡邊	憲章		

(五十音順・敬称略)

お手伝いいただき、ありがとうございます。ございました。なお、今後お手伝いいただける方がおりましたらご連絡ください。

◆おみがき奉仕のつどい

10月21日(日)

おみがき奉仕のつどいにご参加された方々をご紹介します。

川瀬	きぬゑ	君塚	保子
瀧口	泉	中島	マサ
西田	保行	本田	有希
本田	唯果	本田	彰一
本田	信子	渡邊	京子

(五十音順・敬称略)

お手伝いいただき、ありがとうございます。ございました。

次回は年5月19日(日)に行います。



住職の歩み



- ◆ 10月13日(土)
東京一組 門徒会報恩講
- ◆ 10月19日(金)
東京一組 組会
- ◆ 10月30日(月)
児童教化連盟
創立70周年交歓会
- ◆ 10月22日(月)
内局懇談

- ◆ 10月30日(火)
東京教区
同朋社会推進ネットワーク
研究会
テーマ「東京に地震が来た！
自分に何ができるのか？」
(フィールドワーク)
- ◆ 11月15日(木)
児童教化連盟 秋の研修会
NPO法人あそび環境 Museum
アフタフバーバン
- ◆ 11月26日(月)～27日(火)
東京一組 よにん会
本山報恩講出仕
讃仰講演会聴講

- ◆ 12月5日(水)
東京一組 懇談会
鹿児島かくれ念仏事前学習
- ◆ 12月11日(火)
東京教区
ネットワーク9 総編集会議
- ◆ 12月18日(火)～19日(水)
東京教区
同朋の会教導協議会
- ◆ 12月20日(木)
東京教区
総合調整総務会拡大幹事会
- ◆ 12月22日(土)
湾岸親鸞講座③

などなど

お寺の掲示板

十月
十一月
十二月

十月

十一月

十二月



信心しんじんの人は
その心しんすでに
浄土じやうどに居いす
御消息集ごそくしゆ 親鸞しんらん

枯草かれくさは
次のつぎ
いのちのために
土つちに伏ふして
その実みを
抱かかっている
浅田正作あさのまささく

人間にんげんの
願ねがい事の正体しょうたいを
照てらし出すのが
如来にらいの
願ねがいである

本明寺の予定

◆本明寺 修正会・新年会

期日.. 2019年1月14日 (月・成人の日)
時間.. 12時〜修正会
13時〜新年会

◆本明寺 聞法会

期日.. 2019年

1月27日 (日) ※東京教区報恩講参拝

2月24日 (日)

3月31日 (日)

4月28日 (日)

時間.. 15時〜17時 (終了後懇親会があります)

お話し.. 本田 彰一 (本明寺住職)

テーマ.. 輪読をしよう

(『真宗の生活』を一緒に読み、語り合います)

参加費.. 500円

◆東京教区 報恩講 団体参拝

日時.. 2019年1月27日 (日) 13時〜17時30分

※日程終了後に真宗会館、もしくは練馬駅で懇親会を予定しています。

集合時間.. 12時30分

集合場所.. 真宗会館正面入口付近

※練馬駅北口バスターミナルより12時15分に無料送迎バスが出発します

会場.. 東本願寺「真宗会館」

(東京都練馬区谷原一・三・七)

持ち物.. 念珠・肩衣 (帰敬式受式者の方)

申込締切.. 2019年1月20日 (日)

◆本明寺 花まつり (子ども会)

日時.. 2019年4月14日 (日) 13時〜16時

会費.. 300円

対象.. どなたでも参加できます。

(でも、子どもが主役です)

※小学校二年生までは保護者同伴でお願いします。

年忌案内 2019年(平成31年)	
回忌	命終された年
1周忌	2018年 (平成30年)
3回忌	2017年 (平成29年)
7回忌	2013年 (平成25年)
13回忌	2007年 (平成19年)
17回忌	2003年 (平成15年)
23回忌	1997年 (平成9年)
25回忌	1995年 (平成7年)
27回忌	1993年 (平成5年)
33回忌	1987年 (昭和62年)
37回忌	1983年 (昭和58年)
43回忌	1977年 (昭和52年)
47回忌	1973年 (昭和48年)
50回忌	1970年 (昭和45年)
75回忌	1945年 (昭和20年)
100回忌	1920年 (大正9年)

※お申し込み・お問合せは、お気軽に本明寺までご連絡ください。

◆湾岸親鸞講座（市民講座）

テーマ：「現代社会と宗教、そして親鸞」

—（4）『教行信証』を読む—

日程：④ 2019年 2月23日（土）

⑤ 4月13日（土）

⑥ 6月15日（土）

講師：木越 康 氏（大谷大学学長）

受講料：1,000円

会場：すみだ産業会館、他

※会場は不定ですのでお問い合わせください

このような時にお参りします

◆法事

上記の年回忌や四十九日法要など

◆祥月命日

上記の年回忌以外の当月命日

◆月命日

毎月の命日

◆春秋彼岸

春季（3月）、秋季（9月）のお彼岸

◆お盆

本明寺に於いては7月1日～8月31日

◆その他の仏事

誕生記念、入学祝い、卒業祝い、成人記念、結婚式、お内仏（お仏壇）安置、入仏式など慶弔を問いません

お参りをご希望される方は、日程、場所（お寺、ご自宅、墓地など）が決まりましたら、一カ月前までにお寺までご連絡ください。ご希望に添えない場合もございませすがご了承ください。

◆ 私たちの真宗 ◆

- 一、本尊 阿弥陀如来
- 二、宗祖 親鸞聖人
- 三、宗旨 浄土真宗
- 四、宗派 真宗大谷派
- 五、本山 真宗本廟（京都・東本願寺）
- 六、経典 浄土三部経 仏説無量寿経
仏説観無量寿経
仏説阿弥陀経
- 七、教え 本願を信じ、念仏もうさば仏になる
- 八、称名 南無阿弥陀仏
- 九、勤行 正信偈・念仏・和讃・回向・御文
- 十、宗風 礼拝の生活
《朝夕に勤行をいたしましょう》
正信の生活
《迷信に惑わされないで歩みましょう》
聞法の生活
《仏法を聴聞し、生まれた意義と
生きる喜びをみつけましょう》

あとがき

▼新たな年を迎えました。本年もよろしく
お願いします。
▼今年には平成最後の年になりますね。皆さ
んにとって平成という時代はどのような
時代でしたか？

★ご意見・ご感想・ご質問などをお待ちして
います。

★バックナンバーをご希望の方はご連絡く
ださい。すぐにお送りいたします。

発行 真宗大谷派 本明寺
住職 本田 彰一（釋 彰一）
〒130-0012 東京都墨田区太平二・七・一
TEL 03-3623-1536
FAX 03-3623-1538
E-mail honmyouji@mx1.ttcn.ne.jp
URL <http://www1.ttcn.ne.jp/honmyouji/>